

## 「現代 TOKYO 怖話」

『会いたくて、会えなくて。』

▼サスペンススタイル

▼出会い系サイト／SNS トラブル

その女子高生は、グループアイドルの熱狂的なファンだった。ライブツアーがあるときは、都内はもちろん、関西や九州まで遠征した。バイト代はライブチケットと CD、DVD、グッズのためにすべて消えた。ファンが集まる交流サイトに毎日書き込み、出演番組はすべて録画保存していた。

ある日、彼女の Twitter に推しメンの中学時代の親友を名乗る人物から DM が届いた。どうやら芸能活動に悩んでいる推しメンが、自分のことをよく知る彼女に相談したがっているという。

舞い上がった彼女はすぐに返信した。しかし、人気アイドルだけに事務所の監視が厳しく、Twitter や LINE などのやり取りはスタッフに厳しくチェックされるらしい。そこで完全匿名の有料コミュニティサイトを通じて交流することになった。

憧れの推しメンから初めてメッセージを貰った彼女は天にも昇る気持ちで、やり取りするたびにポイントが消費されることなどどうでもよかった。

「全国ツアーに出る前に、一度直接会えないかな？」

推しメンからの誘いに、「もちろんです！」とすぐに返信した。

夢見心地で待ち合わせ場所に向かったが、スタジオ収録が伸びてしまったらしく、結局会うことはできなかった。その後も何度か会う約束をしたが、そのたびになぜか必ずトラブルが起これ、すれ違いが続いた。気づけば、サイト利用料は数十万円にもものぼっていた。

会いたいののに会えない。もどかしさが頂点に達した彼女は、恐るべき行動へと走り始めた……………。